

一般社団法人日本循環器看護学会
令和2年度 WEB理事会 議事録(案)

- 1 日 時 2020年11月13日(金)19時00分から20時00分まで
- 2 場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F)
- 3 出席者 眞嶋 朋子、宮脇 郁子、池亀 俊美、大江 理英、齊藤 奈緒、林 亜希子
前田 靖子、山田 佐登美、若林 留美、鷲田 幸一(以上理事)
吉田 俊子、瀬戸 奈津子(以上監事)
以上15名中12名出席(定足数8名)
(理事及び監事は、全員 ZOOMによるWEB出席)
事務局 横川は事務局にて出席
- 4 欠席者 宇都宮 明美、岡田 彩子、田村 綾子、三浦 稚郁子、明神 哲也

5 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第1号議案 第1回理事会議事録の確認について

眞嶋理事長より、令和2年度新体制理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第2号議案 役員選挙について

令和2年に開催された法人第3期選挙にて被選挙人に誤りがあり、選出された理事1名が就任を辞退することとなった。代わりに、役員(理事及び監事)の選出に関する実施細則第2条「指名理事の選出及び決定」に基づき、理事長により議決権を伴わない指名理事1名が選出され審議を行った結果、全員異議なく承認された。

第3号議案 新委員会委員について

新役員体制による学会運営にあたり、新体制による学術委員会、学会誌編集委員会、政策・診療報酬委員会、広報委員会、倫理委員会、国内交流委員会、選挙管理委員会、総務委員会の各委員として選出された候補者について審議が行われ、全員異議なく承認された。

第4号議案 新規入会・退会者の承認について

令和2年10月5日～11月12日までに学会ホームページより申請のあった入会申請者12名・退会希望者3名についての確認が行われ、全員異議なく承認された。

第5号議案 JANA2021-2022 役員選挙被選挙人 推薦依頼について

一般社団法人日本看護系学会協議会の2021-2022年度役員の被選挙人の推薦依頼に対し、当学会よりそれぞれ下記理事・監事が推薦されることが、全員異議なく承認された。

理事候補者 眞嶋 朋子

(報告事項)

1. 若手研究費助成制度について

2016年の学術集会の余剰金を有効活用するために立ち上げられた「若手研究費助成制度」(令和2年10月4日理事会にて承認)が今年度より実施されるにあたり、今後の進め方について齊藤総務委員長より資料に沿って説明された。

[今後の流れ(詳細は資料参照)]

- ・2020年11月告知開始(本来は学術集会にて告知・募集開始)
- ・2021年2月の理事会で選考委員会立ち上げ&審議開始
(選考委員会は、委員長は役員の中より総務委員会にて選出、選考委員は社員の中から委員長と総務委員会で5名選出)
- ・2021年4月助成金対象者を理事会に報告・審議
- ・2022年7月末に実績報告

2. 今年度予算について

眞嶋理事長より、新委員会の立ち上げに伴い、より有効に予算を活用できるように各委員会にて今年度予算の再確認が各委員長へ求められた。また、Web会議やWebを使用したセミナーなどの開催予定も見込まれることから、総務委員会にて学会のZOOMアカウントを作成することが報告された。今後は委員会のミーティングなどでも使用が可能となる。

事務局より、経費の精算の方法についてアナウンスされた。

- ・各委員会で使用された経費については都度事務局へ精算依頼を行う
(領収書もしくはレシートの原本を事務局へ郵送→確認後、立て替え費用を精算)
- ・教育セミナーや学術集会などでは、その催しごとに収支を作成し、終了後に事務局に報告が必要となる

3. 循環器看護に関する2つの国際会議への出席報告

眞嶋理事長と岡田彩子理事が出席した国際会議についての報告がなされた。COVID-19の影響で、日本だけでなく世界でも国際学会が開けないという現状であり、引き続きWebでの学会開催を呼びかける内容もあった。また、先進的な看護についての話より、東アジア南ヨーロッパに関する課題について共有し、サポートしようというような議論が行われた。また、会議には様々な国からの参加があったが、いずれもCOVID-19の影響などで、時間的に余裕があるとは言えない状況についても報告された。

4. 利益相反に関する指針について

2019年度の理事会で承認された利益相反に関する指針について、現在学会HPなどで公開がされていないが、今後はHPに公開することが報告された。

細則や利益相反についての学会発表時に用いるスライドなどについては再度、倫理委員会で確認の上、次回理事会の審議事案とすることとなった。

5. 公益財団法人循環器病研究振興財団「2021年度循環器疾患看護研究助成 募集要領」学会HPでの告知について

昨年度告知協力を行った公益財団法人循環器病研究振興財団の「2021年度循環器疾患看護研究助成募集要領」について告知協力の依頼があり、本年度も引き続き学会HPにて告知協力を行うことが報告された。

6. その他

・日本学術会議協力学術研究団体への入会申請について

前年度理事会で承認されている該当団体への入会申請について、新年度になり具体的に進めていくことが報告された。まずは眞嶋理事長から問い合わせを行うこととなり、今後申請に伴う準備を進めていくこととなる。大学によっては、同団体の会員であることが博士論文の条件とされているところもあり、学会への評価にもひとつの重要な目安となることも考えられることから、前向きに進めていくことを確認した。

・厚生労働省「循環器病対策推進基本計画」について

厚生労働省より、「循環器病対策推進基本計画」が10月27日に閣議決定されたとの通知が届いたことを受け、本学会より厚生労働省に対して、情報提供をはじめ、様々な協力ができると想定できることから、今後厚生労働省へアプローチを図り、今の枠組みの中にどのように貢献していくことができるのかを具体的に検討していくことが報告された。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年11月13日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子 印

監事 吉田 俊子 印